



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澄田 誠

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	15,140	△22.7	648	△51.1	771	△45.9	441	△33.3
24年3月期第3四半期	19,585	△0.1	1,326	16.3	1,425	25.1	661	26.7

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 370百万円 (△41.3%) 24年3月期第3四半期 630百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	25.21	24.78
24年3月期第3四半期	37.79	37.33

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	25,938	22,426	85.0
24年3月期	27,042	22,261	81.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 22,053百万円 24年3月期 21,935百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
25年3月期	—	7.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	△16.6	850	△45.3	950	△43.6	450	△39.6	25.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	18,218,901 株	24年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	715,359 株	24年3月期	715,245 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	17,503,562 株	24年3月期3Q	17,499,552 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機問題に加え新興国経済の減速などの影響により、先行き不透明な状況が続いているものの、東日本大震災の復興需要や新政権の経済政策への期待から円安、株高基調に転じるなど、明るい材料も見えてきております。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、携帯電話市場、コンピュータ市場ともに総じて低調でしたが、スマートフォンやタブレット端末などのモバイルコンピューティング関連につきましては引き続き堅調に推移いたしました。一方、民生用電子機器関連も引き続き厳しい環境となっており、特に国内の薄型テレビ市場は、需要の一巡を背景に低迷が続きました。また、このような最終製品市場の状況を背景に、国内半導体メーカーの設備投資は低調に推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高151億40百万円（前年同期比22.7%減）、営業利益6億48百万円（同51.1%減）、経常利益7億71百万円（同45.9%減）、四半期純利益4億41百万円（同33.3%減）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。また、平成24年7月には新製品の開発・新規事業展開を図ることを目的として、画像処理関連の高い技術力を有する株式会社レグラスを子会社化いたしました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行及び長期契約の更新が順調に進んだことなどにより、概ね堅調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けは伸長しているものの、国内半導体メーカーの設備需要が一巡したため、売上高は減少いたしました。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは堅調に推移し、開発効率も向上いたしました。

その結果、当事業の売上高は79億56百万円（同22.1%減）、セグメント利益は8億43百万円（同47.2%減）となりました。

〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に努めてまいりました。ハードディスク部門は、アミューズメント向けが堅調に推移したものの、OA・FA市場の低迷に加え一部モデルの供給終了により、売上高が大きく落ち込みました。一方、自社製組み込み用途向けCPUボードは堅調に推移しましたが、デバイス部門及びアイティアアクセス株式会社は、HDMIチップ、レーザーダイオードドライブ及び組み込みソフトウェア、ライセンス販売などが、デジタル家電低迷の影響を受け前年同期実績を下回りました。

その結果、当事業の売上高は71億83百万円（同23.3%減）、セグメント利益は1百万円（同94.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、259億38百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億4百万円減少しております。これは主に、現金及び預金が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

一方、負債は35億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億69百万円減少しております。これは主に、短期借入金が増加したものの、買掛金や未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産は224億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億64百万円増加しております。これは主に、四半期純利益を計上したためであります。この結果、自己資本比率は85.0%となり、前連結会計年度末に比べ3.9ポイント増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月8日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しませんが、第2四半期連結会計期間より、株式会社レグラスの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,470,444	5,410,992
受取手形及び売掛金	8,533,083	5,135,777
商品及び製品	1,185,209	1,201,048
その他	2,085,000	2,374,628
貸倒引当金	△1,151	△786
流動資産合計	15,272,585	14,121,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,690,139	7,697,622
減価償却累計額	△3,449,846	△3,559,407
建物及び構築物（純額）	4,240,292	4,138,214
土地	5,668,131	5,668,131
その他	741,453	801,202
減価償却累計額	△493,494	△544,476
その他（純額）	247,959	256,725
有形固定資産合計	10,156,383	10,063,071
無形固定資産		
のれん	84,535	146,180
その他	168,484	147,110
無形固定資産合計	253,020	293,290
投資その他の資産		
投資有価証券	682,454	658,205
その他	686,246	810,383
貸倒引当金	△7,697	△7,928
投資その他の資産合計	1,361,002	1,460,659
固定資産合計	11,770,406	11,817,021
資産合計	27,042,992	25,938,682

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,865,989	631,411
短期借入金	—	500,000
未払法人税等	697,022	95,232
賞与引当金	—	69,329
役員賞与引当金	—	12,200
その他	1,699,299	1,686,741
流動負債合計	4,262,311	2,994,914
固定負債		
退職給付引当金	284,022	285,411
役員退職慰労引当金	37,050	56,039
その他	198,208	175,977
固定負債合計	519,280	517,429
負債合計	4,781,592	3,512,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,320,858
利益剰余金	4,395,430	4,591,557
自己株式	△282,956	△283,010
株主資本合計	21,950,491	22,146,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	64,487	24,973
繰延ヘッジ損益	△7,076	△24,067
為替換算調整勘定	△71,955	△94,098
その他の包括利益累計額合計	△14,543	△93,192
新株予約権	137,543	177,404
少数株主持分	187,908	195,561
純資産合計	22,261,400	22,426,338
負債純資産合計	27,042,992	25,938,682

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	19,585,082	15,140,328
売上原価	14,636,706	11,003,865
売上総利益	4,948,376	4,136,463
販売費及び一般管理費	3,622,168	3,487,653
営業利益	1,326,207	648,810
営業外収益		
不動産賃貸料	317,610	321,631
その他	42,216	65,561
営業外収益合計	359,827	387,192
営業外費用		
不動産賃貸費用	246,560	244,579
その他	13,699	20,340
営業外費用合計	260,259	264,919
経常利益	1,425,775	771,083
特別利益		
投資有価証券売却益	1,796	23,372
退職給付制度終了益	49,359	—
特別利益合計	51,156	23,372
特別損失		
減損損失	114,753	—
その他	4,352	—
特別損失合計	119,106	—
税金等調整前四半期純利益	1,357,825	794,455
法人税等	685,844	345,624
少数株主損益調整前四半期純利益	671,981	448,830
少数株主利益	10,745	7,652
四半期純利益	661,235	441,178

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	671,981	448,830
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30,999	△39,514
繰延ヘッジ損益	13,699	△16,991
為替換算調整勘定	△23,929	△22,143
その他の包括利益合計	△41,229	△78,649
四半期包括利益	630,752	370,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	620,006	362,528
少数株主に係る四半期包括利益	10,745	7,652

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,219,747	9,365,334	19,585,082	—	19,585,082
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,285	—	16,285	△16,285	—
計	10,236,032	9,365,334	19,601,367	△16,285	19,585,082
セグメント利益	1,597,104	26,921	1,624,025	△297,818	1,326,207

(注) 1. セグメント利益の調整額△297,818千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△297,821千円及び棚卸資産の調整額3千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「半導体設計事業」セグメントにおいて、子会社の建物及び構築物等の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては114,753千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,956,824	7,183,504	15,140,328	—	15,140,328
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,956,824	7,183,504	15,140,328	—	15,140,328
セグメント利益	843,133	1,615	844,748	△195,938	648,810

(注) 1. セグメント利益の調整額△195,938千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△196,120千円及び棚卸資産の調整額182千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。